

報城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集人 小池英樹
発行人 小池英樹
印刷所 富士印刷

管内の世帯数 (4・8・1)
第1地区…2,809
第2地区…5,442
合計…8,251世帯

令和4年度「城山公民館成人式」 再び地元城山の地で

7月の地区回覧(第一・第二地区)でお知らせとお願いをしたところですが、令和4年度の城山公民館区成人式について、改めて説明させていただきます。

長野市では、市立公民館・交流センターが中心となり、例年、地域と共催で成人式を実施しています。これは、新成人の前途を祝福するとともに、成人に大人の自覚を高めてもらおう機会とするべく実施するものです。

現在、長野市内の全29の市立公民館・交流センターのうち、21の市立公民館・交流センターで地元開催の成人式を行い、8市立公民館・交流センターが長野市芸術館で合同開催しています。

城山公民館区(第一・第二地区)の成人式は、20数年前

まで蔵春閣(城山公民館別館)で開催していましたが、建物や成人者数等の関係から、長野市民会館(長野市芸術館)の合同開催に合流して今日に至っています。

ところで、第一・第二地区では、少子化による成人者の減少もあり、3年ほど前から地元での成人式開催が話題となり、以後検討を重ねてきました。その結果、合同開催への参加希望者もあるとは思いますが、地元地区として新成人を心からお祝いし、わがふるさとを実感しつつ、成人としての良き思い出をつくってほしいという願いにより、「城山公民館成人式」として地元開催にすることを決定しました。

国宝善光寺のお膝元の地元で成人を祝福することは、私

たち地元地区住民にとってもたいへんうれしいことであり、誇らしいことであると考えています。

人生の大事な節目である20歳の式典が、成人の心にとこの地をふるさととする誇りとして刻まれてほしいと願っています。そして、地域の皆様には、「地域の成人は地域で祝福する!」という趣旨により決定した「城山公民館成人式」について、どうかご理解をいただきましたと考えています。

▼
今後の「城山公民館成人式」開催に向けた日程は次のとおりです。

- 開催内容・日程について
地区回覧(8月)
 - 参加申込書送付(10月)
 - 成人式案内状送付(12月)
 - 「令和4年度城山公民館成人式」：令和5年1月8日9時20分受付
- 会場 善光寺事務局講堂

また、「城山公民館成人式」への参加対象者は、例年同様、次のとおりです。

- 平成14年(2002年)4月2日から平成15年(2003年)4月1日までに生まれた者
- 第一・第二地区に居住する者または実家がある者

したがって、遠隔地に進学・就職等で居住している成人も対象となる場合がありますので、ご相談ください。

なお、成人式に関する詳細は、8月の地区回覧と城山公民館ホームページをご参照ください。

以上、令和4年度の成人式についてお知らせとお願いを申し上げます。不明な点については、遠慮なく公民館までご連絡ください。

☎23213111
(館長小池)



令和3年度 成人式出席者

折々日記 成人式への思い

山口 美緒

7月、「城山公民館成人式について」という題目で回覧が回りました。上段にあるように、合同開催から地元開催へと内容が変化した。我が成人式といえば大学の関係で帰省できず、3月末に東京の親戚宅で振袖を着付けていたのみ。さほど成人式という「形」に重きを置いていませんでした。

だからこそ回覧にもあった「地域の成人は地域で祝福する!」という地元の「大人たち」からの力強い言葉に、そういう思いもあるのかという少しの驚きと、そんな人たちが支える地域に暮らせるしあわせや安心を感じました。とはいえ、成人を迎える皆さんのなかには、今回の変更にも複雑な思いを抱える人もあるように思います。半年を切って、さまざまなる人の思いを汲んだ温かな式になることを祈り、地域に暮らすひとりとしてできることがあればとも思うのでした。

おひるくらぶ 「ウクレレ」コンサート」感想

勝山 ころろ (母)

「この講座、楽しそう!」と、
閲覧板で目にとまったウクレレ
コンサート。2歳の娘が集
中できるのか不安もありまし
たが、ものは試し、参加を決
めました。いざコンサートが
始まると、移動が自由なだけ
でなく、マラカスやミニウク
レレ等、様々な楽器も演奏自
由!はじめは戸惑っていた娘
も、ウクレレの優しい音色と
会場の雰囲気には癒されたのか、

曲に合わせて踊ったり歌った
り楽器を鳴らしたり、生き生
きと音を楽しんでいました。
今回の参加を機に、リトミッ
クを始めようかと思案中です。
娘の興味を刺激するきっかけ
をいただきました。ありがと
うございました。



親子でウクレレに挑戦

あひるくらぶ 「親子でカラー バスボム作り」感想

岩本 友香 (母)

娘が「今日何時にお風呂入
る?」と聞いてきたその日は、
バスボム作りに参加した日
でした。自分の好きな色を選
び材料をモミモミして作った
バスボムで入るお風呂が楽し
みで仕方ない様子の娘。入っ
てみるとシユワシユワと溶
け、息子と共に親子で大興
奮!そのときだけでなく帰宅
してからも楽しめる講座に大
満足でした。

岩本 美結 (子)

わたしは赤と青を混ぜて
バスボムをつくりました。む
らさきになるかなとおもっ
たけど、うすみどりのバス
ボムになりました。マスク
スプレーはたくさんのかお
りの中からレモンのかお
りをえらびました。つぎの日
のマスクはとてもいいにお
いで、かぞ
くのマスク
にもスプレ
ーしてあげ
るとみんな
によるこば
れました。



わくわくのバスボム作り

親子講座 ひよこくらぶ あひるくらぶ にご参加 ★ ありがとうございます! ♪

おひるくらぶ 「ベビーヨガ」感想

寺島 ちえ (母)

9ヶ月の娘と一緒に、ベビー
ヨガに参加させていただきました。
した。

コロナ禍で産まれ、同
じくらいの月齢のお友
達と触れ合うことがほ
とんどなかった娘です
が、得意のお尻歩きで
積極的に歩み寄り、話
しかけたりチューしたり
(笑)、とても楽しんで
ました。
私自身も、抱っこや授

あひるくらぶ 「親子で木工教室」感想

高橋 宏彰 (父)

「親子で楽しんだ木工講
座」 今回、親子で作業を
する木工講座に参加さ
せていただきました。
定規を見ながら数字を
読んだり印をつけたり。

ノコギリ・トンカチの使い方
を教えながら一緒に作業をす
る事で子どもの目の輝きを再
認識しました。大人には難し
くなくても子どもには経験の
少ない作業。はじめは難しく
てうまく使えない道具も笑い



楽しく親子ヨガ

ひよこくらぶ…
未就園児と保護者
あひるくらぶ…
小学生と保護者

乳で凝り固まった身体がヨガ
のポーズやストレッチでスッキ
リ。楽しそうな娘の顔を見な
がら体操し、心も体もリフレッ
シユすることができました。日
常生活でも、少しずつ取り入
れていければと思います。
親子共々、とても良い時間
を過ごせました。ありがとう
ございました。

ながら使えるようになってい
て、最後には木製の時計が完
成。少しずつ完成していく形
を楽しみながら、一緒に作っ
た良い記念品ができました。
高橋 みしか (子)
パパとノコギリゴキゴキが
たのしかった。トンカチはむ
ずかしかつたけどがんばりま
した。とけいがかんせいして
うれしかったです。



親子でノコギリ体験

ひよこくらぶ
ようこそ!
ハロウィン
10月28日(金)
9:30~11:30

- 第二地区分館受付
- 親子20組(要予約)
- 参加費400円(予定)

申込み先:城山公民館
(平日) ☎232-3111

地域の学び 講座
県立美術館の魅力にふれる、
秋の美術館見学
10月13日(木)9:20~11:30

参加費: 県立美術館入館料金
集合: 城山公民館本館 玄関
申込み: 城山公民館(平日)
232-3111(要予約)
共催: 第二地区住民自治協議会

市民防災講座
あの時にかんこつた!
講師 柳見沢 宏さん
【元長野地区住民自治協議会会長】

日時 9月8日(木)
10時~正午
場所 城山公民館第二地区分館
参加費 無料
持ち物 上履き(スリッパ)・マスク
申込み 城山公民館
☎232-3111【平日】

フレイル予防講座
「大人リトミック」
R4年9月7日(水)

場所 城山公民館第二地区分館
時間 午前10時~正午
定員 20人(要予約)
持ち物 上履き・水筒・マスク
申込み 城山公民館
232-3111(平日)

講師 北島由美さん

これからの
市民講座
お申込みを
お待ちしております

特別寄稿

裾花川と長野市街地その2

裾花川の最上流部 高妻山と奥裾花溪谷

戸隠地質化石博物館

田辺 智隆

長野市の最高峰の高妻山(標高2353m)から、裾花川は流れだします。この高妻山から火打山(標高2461m)にかけては、標高2000m級の険しい山々がそびえ、かつて「頸城アルプス」とも呼ばれた山塊となつています。この地域は、日本海から流れ込む雪雲がこれらの山々にぶつかり雪のとても多いところです。その雪が解けて大量の水となり、大地を削って深い谷をつくり、土砂を長野市街地へ運び扇状地をつくるのです。

この地域は、新潟県糸魚川から白馬・松本・諏訪・甲府を通り静岡まで続く活断層「糸魚川―静岡構造線」の東側にあたり、フォッサマグナ地域とも呼ばれます。この地域は、約2000万年前から約200万年前にかけて、海底だった場所です。これらの山々もこの海に堆積した地層でできています。そのことを確かめることが

これらの地層は約300万年前のもので、北アルプスから運ばれた石ころがたくさん含まれています。このことから、すでに北アルプスは隆起を始めており、鬼無里地域は海だったことがわかります。その海だった部分がその後急激に隆起し、鬼無里一帯の山々となつていく、という生い立ちがわかります。また、



千畳敷岩(硬い砂岩でできた地層が一面に露出)

できるのが、奥裾花自然園に続く林道沿いの地層です。奥裾花溪谷と呼ばれ、砂や泥、石ころなどでできている地層が高さ100mに近い連続した崖をつくっています。信州の「グランドキャニオン」といつてもよい場所で、地層の野外博物館となっています。

この山深い鬼無里や長野市街地がかつて海だったこと、裾花川がこれらの地層を削り、運んだことで、市街地がある扇状地ができたことなど、本物を見て、考えるのにはこれほど良い場所はありません。ぜひ、一度は訪れてみてほしい場所です。



奥裾花溪谷の地層 ケスタ地形

地層の硬い部分が削りのこされた「千畳敷岩」「ケスタ地形」、水が大地を削る「ポットホール」、地層の中の化学成分が固まつてできた「団塊」、「ハチの巣状風化岩」など、市の天然記念物に指定されている各種の地質現象を生で見ることがもできます。また、裾花川の河原に降りると、海にすんでいた貝類や海底に穴を掘ってすんでいた生き物の巣穴の化石などを見つけることもできます。さらに、城山まで流れていった高妻山の石ころも見ることがもできます。

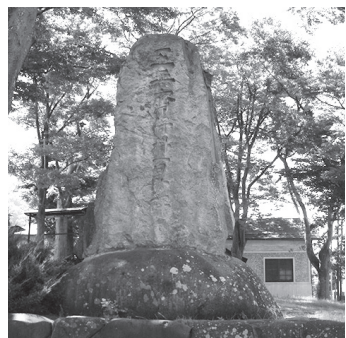
地域公民館便り

西長野公民館長 坂口 弘幸



西長野公民館活動を紹介します。西長野は、善光寺の南西に位置し、地区内

には信州大学教育学部、加茂小学校、自治会館、加茂神社などがあります。西長野公民館と加茂神社社務所は神社西側に隣接し、加茂神社境内の広場では、公民館主催のどんど焼き、育成会主催の夏期ラジオ体操会等各種の行事が行われています。コロナ禍で多くの行事は中止になりましたが、年最初の行事ほとんど焼きはなんとか実施されました。



五無斎保科百助碑

加茂神社境内には、信濃教育会の民有地があり、「五無斎保科百助碑」が建立されています。県立長野図書館の基礎を築いた地質学者で、同図書館3階に業績が展示されています。「五無斎保科百助碑」については、戸隠地質化石博物館の田辺智隆氏が、館報城山169号に詳しく紹介しています。碑の正面は長野県初の大蔵大臣渡邊國武氏の大書の「国」の作詞者浅井洌先生の作並びに書です。このような石碑のある境内での室外行事が復活できる事を願っているところです。今回、初めての公民館長ですので、西長野全体で盛り上げていきたいと思っています。



西長野公民館

城山公民館 歴史シリーズ
城山公園
 番外②

城山公園一帯の変貌を機に、これまでの城山の歴史をたどり、かつての姿を長く記憶にとどめておきたいと考えこのシリーズを重ねてきました。

今回も、これまでのシリーズをいくつか振り返ってみましたと思います。(号数は館報№)



シリーズその5 (185号)
 長野平和博覧会 会場入口

昭和24年(1949)、城山公園一帯で「長野平和博覧会」が開催された。これは、平和日本と文化国家建設に資するため、長野県産業と文化を広く全国に紹介しようという機運が生まれ、開催の運びとなった。



シリーズその6 (186号) 三幸座

明治11年(1878)の明治天皇長野町巡幸に合わせ湯福川に「みゆき橋」がかけられた。明治19年、この橋の近くに三幸座ができ、城山館とともに様々な興行を行った。

大正4年(1915)7月には、三幸座で新古典劇「サロメ」等が上演され、天下の大女優となった松井須磨子が主役サロメを演じた。この時には多くの市民が三幸座にかけつけ、郷土の大女優の演技を堪能した。

長野公演の松井須磨子



シリーズその7 (187号)
 長野産業文化博覧会 (開会式)

昭和36年(1961)、城山で長野産業文化博覧会が開催された。博覧会の趣旨は、貿易自由化時代を迎えたわが国のめざましい発展と国際的地位の向上の基礎となった産業文化の現況を集め、一般に公開して産業の発展と文化の向上に寄与することにあつた。博覧会入場者数は73万人以上に達し、当初の予想を大きく上回った。



会場を見学される皇太子ご夫妻 (現上皇ご夫妻)

あちこちスナップ



安楽山刈萱堂往生寺 (西長野)

往生寺は、眼下に善光寺平を一望する、まさに天空のお寺である。刈萱上人を開祖として鎌倉時代に開かれた。境内の刈萱塚は善光寺七塚の一つに数えられる。



往生寺の梵鐘

童謡「夕焼け小焼け」に登場する「山のお寺の鐘が鳴る…」は、往生寺の鐘の音であると伝えられている。

新刊図書のご案内

- | | |
|-------------------|----------|
| ゆきちゃんは、ぼくのともだち! | 武田 美穂 |
| 脱北航路 | 月村 了衛 |
| 縦横無尽の人間力 | 宮城谷 昌光 |
| ずばっじー | 高橋 祐次 |
| 地球、この複雑なる惑星に暮らすこと | ヤマザキ マリ |
| ちびちびパンダ | みやにし たつや |
| ヴィーガンフード、はじめの一步! | i i n a |
| ドーナツパンタくん | 柴田 ケイコ |

編集後記

編集会議を行っていると、隣の教室から、唱歌「夏は来ぬ」のメロディーが流れてきました。ハーモニカの音色に郷愁を感じて、一瞬、小学校時代に戻されましたが、今年は善光寺御開帳と御柱祭が同年に行われる希有な年。史上2回目とのこと、今回は150年前の明治5年でした。大陰暦から太陽暦に転換する政令が施行された時です。改めて、「館報城山」にも、何とかメモリアルな紙面が出来ればと、編集会議に臨みました。(萩原)